





ソーラーパネルで集めた太陽光でできた電気を使って、停電時もライトが点滅するよ。  
停電中の真っ暗な街中でも避難場所を見つけることができ、人々の集合の目印になるんだ。

① AE-TOWER (避難誘導灯)



いつもは休憩場所として使っているパーゴラが、災害の時も大活躍！  
雨風をふせぐテントをとりつけることができるので、避難場所の本部として使うことができるよ。



② 防災パーゴラ

公園内の2か所に、備蓄品などの災害時に使う物品を保管しているよ。  
※普段中に入ることはできません。



③ 防災倉庫



④ ソーラー照明灯 足元誘導灯

ソーラーパネルで集めた太陽光でできた電気を使って、停電時もライトが光るよ。  
足元がしっかり見えて、園内を安心して歩くことができるね。



二子玉川公園 防災ひみつ設備ずかん

もしもの時に使えるように…



公園サポーターの「安全安心グループ」が、かまどベンチの隙間に落ちたゴミを取ったり、水洗いしたり、定期的にお手入れしているよ！



いつもは座って使っているベンチが、災害時はなんとかまどに大変身！  
電気やガスが使えなくても、ここで煮炊きができるよ。

⑦ マンホールトイレと防災井戸

小さいマンホールのふたを開けて、便座のイスと小型 TENT を取りつければ、個室トイレの完成！



水は防災井戸から出したり、池から引いたりして流すよ！



⑥ つよくてひろ～い園路

みんなが普段歩いている公園内の園路、実はとても頑丈な造りになっているんだよ。



実際にかまどベンチで火をおこして使ってみるイベントを、年に数回実施しているよ！



ビジターセンターでは、公園サポーターと一緒に定期的には便座のイスを組み立てたり、マンホールトイレ内に水を流してみたりしているよ。